

第 18 回ジュニアマジシャンビデオコンテスト結果発表

全国の 18 才までのマジックファンが映像で参加できるコンテスト、テンヨー主催「ジュニアマジシャンビデオコンテスト」は 2019 年で第 18 回目を迎えました。今回も数多くのご応募をいただき、まことにありがとうございました。審査の結果、グランプリと各賞を次のとおり決定しました。

ビデオコンテスト結果		()	
		内は応募時の年齢です。	
◆ グランプリ 10 万円+テンヨーマジックの百科事典 [TENYO-ISM]	◆ 奨励賞	ステージマジック部門	TAICHI さん (11 才: 神奈川県)
テーブルマジック部門	Yuki さん (12 才: 神奈川県)	ステージマジック部門	矢橋倅大さん (16 才: 高知県)
◆ 優秀賞 2 万円+ 2020 年マジック新製品セット	ステージマジック部門	ステージマジック部門	好井悠人さん (16 才: 香川県)
ステージマジック部門	野町侑冬さん (15 才: 長野県)	テーブルマジック部門	今井蓮人さん (5 才: 宮城県)
テーブルマジック部門	武藤悠さん (16 才: 東京都)	テーブルマジック部門	EMMA さん (10 才: 愛知県)
テンヨーマジック部門	てってんさん (17 才: 大阪府)	テーブルマジック部門	榎木夏樹さん (11 才: 鹿児島県)
		テーブルマジック部門	渡邊稀空さん (15 才: 東京都)
		テーブルマジック部門	武内謙晴さん (16 才: 大阪府)

総評 ※ () 内は応募時の年齢です。

今回もフレッシュな演技映像の数々をお送りいただきまして、深く感謝します。2002 年に開始した「テンヨージュニアマジシャンビデオコンテスト」もおかげさまで 18 回目を迎えました。このコンテストが始まってすでに 20 年近くが経とうとしています。過去の応募者・受賞者のなかには、すでにプロマジシャンとして活躍されている方も何人もいらっしゃいますが、今回も未来の名人・達人たちがたくさんいらっしゃいました。多数の応募のなか見事入賞された方々をご紹介します。

◆ グランプリ

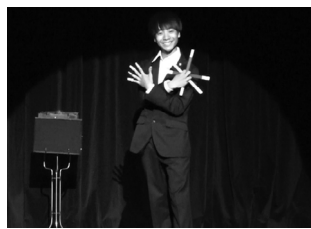


グランプリは「ステージマジック部門」「テーブルマジック部門」「テンヨーマジック部門」の応募 3 部門の中から総合優勝者として 1 名が選ばれます。今回見事グランプリを獲得したのは、テーブルマジック部門で応募の Yuki さん (12 才: 神奈川県) です。演じたのは、レゴブロックを使ったマジック。4 色のサインペンがそれぞれの色のブロックに一瞬で変化するという視覚的にあざやかなマジックもあれば、ブロックで作られた「AI 搭載のレゴマシーン」(?) を使った楽しい予言マジックなど、現象のバラエティがゆたかな演技でした。テンヨー開発部の審査員一同がうなづいたのは、その高いオリジナリティです。ブロックという素材の面白さに負けない現象自体の面白さと不思議さがあり、全体的によそでは見られない独自色がありました。本人のまじめで快活な演技態度もあいま

て、文句なしのグランプリとなりました。今後、新たにどのようなマジックを見せてくれるのか期待しています。

◆ 各部門 優秀賞

優秀賞は 3 部門それぞれで評価が最も高かった 1 名ずつが選ばれます。獲得されたのは野町侑冬さん (15 才: 長野県)、武藤悠さん (16 才: 東京都)、てってんさん (17 才: 大阪府) です。



ステージマジック部門で受賞の野町侑冬さんはシルクやシンプル、ウオンドを使ったマニピュレーションマジック。白いシルクが突然 4 本の白いシンプルに変化し、さらにシンプルの色がさまざまに変化していきます。続けてウオンドやいろいろな道具があざやかに出現・消失・色変わりする多様な現象を見せてくれました。野町さんは例年応募してくださり、これまでも見事なマニピュレーションで楽しませてくれましたが、今回は格段の成長と安定感が感じられ、優秀賞の受賞となりました。



武藤悠さんはテーブルマジック部門での受賞です。不思議な指輪を指にはめると真っ白なカードに模様が印刷され、リングをはずすと真っ白に戻る…というストーリーで、元々真っ

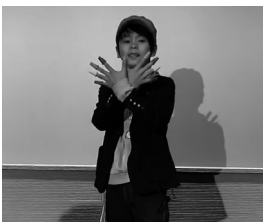
白なひと組のトランプ全てが色鮮やかに印刷されていくというマジックを見せてくれました。マジックのオリンピック・FISM のコンテストにも見られるようなストーリー性のある演技で、手順構成のオリジナリティと意欲が評価されたの優秀賞となりました。



てってんさんはテンヨーのマジックグッズを魅力的に演じていただく部門・テンヨーマジック部門での受賞です。テンヨーの近年の製品「ミラクルミルクチョコレート」を使った演技です。「食べるな」と書かれた家族のチョコレートをうっかり食べてしまった…という楽しいストーリーで、チョコレートの端の色の変化や、欠けた部分が復活するという現象を表情豊かに見せてくれました。説明書には書かれていない独自の道具の使い方やコミカルな演技が面白く、テンヨー製品を自分のスタイルで使いこなしているとても良い演技でした。

◆ 各部門 奨励賞

続けて奨励賞の受賞者をご紹介します。優秀賞は逃したものの、いずれも魅力的な演技でした。



ステージマジック部門: TAICHI さん (11 才: 神奈川県) シンプルのマニピュレーションとロープのマジックを中心とした、はつらつとした演技でし

た。TAICHI さんの特色はマジックとストリートダンスを組み合わせているところで、楽しく躍動感のあるパフォーマンスになっています。楽しさの一方、ダンスの唐突さを感じる部分もあるため、今後はダンスとマジックを演技の上でいかに自然に結びつけられるかが課題でしょう。未来のエンターテイナーとして大いに期待しています。



ステージマジック部門: 矢橋倅大さん (16 才: 高知県) ステッキからシルクへの変化、そのシルクを使った鳩出しのあと、カードのマニピュレーションへとつながる、定番ながら贅沢なステージマジックを見せてくれました。ひとつひとつのマジックを丁寧に演じていることが伝わります。やや表情が固かったため、笑顔を意識して演じるとさらに素敵になると思います。



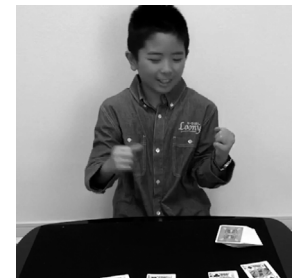
ステージマジック部門: 好井悠人さん (16 才: 香川県) 白い封筒から取り出したハート型の赤い紙がビリヤードボールに変化し、増えていく…ロマンチックなマニピュレーションを見せてくれました。演技はとてもスムーズで気持ちよく演じられていることが伝わります。現在のステージ・マニピュレーションの流行をよく勉強されていると感じました。



テーブルマジック部門: 今井蓮人さん (5 才: 宮城県) マットに離して並べた 4 枚のコインをカードで覆うと、1 枚ずつ一箇所に集まっていきます。最後に 4 枚がそろうかと思いきや、一瞬で 4 枚は元の位置に戻ってしまいます。「コインマトリックス」と呼ばれるコインマジックを楽しく演じてくれました。5 才にしてこの高度なマジックを軽々とこなしていることに大変驚きました。



テーブルマジック部門: EMMA さん (10 才: 愛知県) 4 つのハート型スポンジを離してテーブルに並べ、4 枚のカードで覆います。スポンジはひとつずつ移動し、一箇所に集合してしまいます。最後に 4 つのスポンジを手でもむと大きな 1 つのハート型スポンジになってしまいます。短いですけど、とてもうまく構成された可愛らしい演技でした。



テーブルマジック部門: 榎木夏樹さん (11 才: 鹿児島県) カードマジックでの応募です。ひと組のトランプから 4 枚のキングと 4 枚のエースを華麗なテクニックで取り出したあと、それらをテーブルに配るとこつぜんと消えてしまいます。残りのカードを見るとオモテが全て真っ白なカードになってしまいます。高度なテクニックや手順の面白さも素晴らしかったのですが、カメラの向こう側を強く意識した「YouTuber」的なキャラクター作りが印象的でした。またしても新しい世代が登場した、と感じさせられた演技でした。



テーブルマジック部門: 渡邊稀空さん (15 才: 東京都) 5 分間の動画になんと 15 個ものオリジナルマジックを詰め込んだ演技動画を送ってくれました。トランプが次々とお札になるマジックや、シールの色変化、折り鶴の消失などの多彩な

マジックで溢れています。創作の楽しさがこちらにもよく伝わってくる映像でした。一方あまりにも駆け足で多くのことを見せられるため、次は是非ひとつひとつを丁寧に演じたものを見たいと思います。



テーブルマジック部門: 武内謙晴さん (16 才: 大阪府) トランプから 1 枚を選んでもらいひと組に戻しますが、あざやかに何度も取り出ししたり、テーブルに置いてあったジョーカーの間から出てきたりといった現象が次々と起こります。最後にはテーブルの上で相手のカードをこすると消失し、演技の最初からテーブルにずっと置いてあった 1 枚のクイーンを破ると、中から折りたたまれた状態で出てきます。カードのテクニックによどみがなく、演技の進め方も非常にスムーズかつスマート。センスのよさが光る演技でした。

2018 年の第 17 回より、応募部門を「ステージマジック部門」「テーブルマジック部門」「テンヨーマジック部門」の 3 つに分けました。多様な楽しみ方・スタイルがあるマジックをより適切に評価するために審査カテゴリを分けたわけですが、それぞれの部門内においてもコンテストのスタイルや魅力の多彩さに驚かされ、マジックというものの評価の難しさにあらためて気づかれます。アイデアのオリジナリティ、テクニック、プレゼンテーション…審査をするうえではさまざまな評価ポイントがありますが、テンヨー開発部の審査員の心を一番動かすのは、若い時期にしか出せないはつらつとした雰囲気や勢いといった、点数化のできないオーラのようなものです。マジックが楽しくて仕方ないという気持ちで打ち込む姿は、その掛け値なしの瞬間が映像にも鮮やかに記録されます。我々はみなさんが一番輝く瞬間を見逃さないようこれからも目を開けていたいと思います。今後ともみなさんの熱いご応募をお待ちしています!

なお、テンヨーウェブサイトでは入賞された方々のダイジェスト動画を見ることができまので、是非ご覧ください。

株式会社テンヨー主催 ジュニアマジシャンビデオコンテスト
 ~あなたのマジックをビデオに撮ってお送りください~

毎年、全国のジュニアのマジックファンが映像で参加できるコンテストを開催しています。ご自慢の演技をテンヨーで審査し、グランプリほか各賞を決定。賞金および賞品をさしあげます。例年春頃に応募を開始し、夏に締め切ります。コンテストの詳細はテンヨーマジックファンのページ (<http://www.tenyo.co.jp/magic/>) をご覧ください。ご応募お待ちしております!